

5 指導案

【公開授業①】

領域	授業クラス	授業者	題材	掲載ページ
消費・環境	5年3組	後藤春奈 教諭 (鹿本小学校)	持続可能な社会へ 物やお金の使い方	P16~17
食生活	6年2組	坂田光 教諭 (南ヶ丘小学校)	まかせてね 今日の食事	P18~20

【公開授業②】

領域	授業クラス	授業者	題材	掲載ページ
衣生活	5年2組	有働加織 教諭 (隈府小学校)	ミシンにトライ! 手作りで楽しい生活	P21~23
課題と実践	6年3組	岩本圭祐 教諭 (西合志中央小学校)	生活を変える チャンス!	P24~25



第5学年3組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 後藤 春奈

1 題材の構想 持続可能な社会へ 物やお金の使い方 (東京書籍) C

児童の姿 終了時の 題材	「持続可能な社会の構築」などの視点から、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫しようとしている。		
	〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕	〔学びに向かう力、人間性等〕
題材の目標	物や金銭の使い方と買い物のしくみや環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
目標に向かうための手立て	○研究の視点 【視点1 課題設定の工夫】 今までの自分や家族の買い物を振り返り、失敗したと思う経験を出し合い、共有し合うことで、よりよい消費者になろうという意欲を高めることができるようにする。 【視点2 指導の工夫】 ロイロノート内のカラーテキスト活用・お金の使い方の疑似体験・具体的な買い物の場面想定によって、児童の意思決定や表現・集約ができるようにする。 【視点3 振り返りの工夫】 振り返りシート（ロイロノート）を活用したり、児童の記入例を全体に紹介したりすることによって、児童の振り返り意欲を高める。		
児童の実態	○一人で牛乳を買う場面を想定した時に選ぶ基準として、銘柄（9人）、値段（7人）、消費・賞味期限（18人）が挙げられた。 ○買い物をするとき大切なことを自由記述で尋ねたところ、 ・値段 ・消費・賞味期限 ・必要かどうか考える ・無駄遣いしない などが多かった。	○「気に入った筆箱があったら、買いますか？」の問いに、買って使用中のものを捨てる（2人）、買って使用中ものを取りあえず残して新しく買ったものを使う（10人）、今使っているものが古くなるまで新しい物を保管しておく（14人）買わない（8人）だった。 ○お年玉を全額貯金する児童が（13人）、保護者に預ける児童が（9人）、どうしてもほしい物を買って残りを貯金（9人）、自分で保管（1人）その他（1人）だった。	○一人買い物の経験を約7割の児童がしている。（おやつ・おもちゃ・食料品などのおつかい） ○物を大切にするために、何かしていることはあるか尋ねたところ、はい（23人）いいえ（11人）だった。「はい」と答えた人の回答は、 ・きちんと保管する ・古くなるまでずっと同じ物を大切に使う ・きずつけない ・整理整頓する などが多かった。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 買い物のしくみや支払いの方法について理解している。 ② 購入に必要な情報の収集・整理について理解し、適切にできる。	① 限りある物や金銭の使い方や消費者の役割について考えている。 ② さまざまな情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い物の仕方について考え工夫している。	① 家族の一員として、今までの買い物を振り返り、生活を改善しようとしている。 ② 上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境や資源に配慮した生活を工夫し、実践しようとしている。

指導と評価の計画（6時間取り扱い ●本時3/6）

課題	次	時	主たる学習活動	評価内容・方法
目指せ 買い物名人!!	1	1	○消費者の役割や必要な物を手に入れるためのいろいろな方法について理解する。○自身の買い物の失敗の経験を想起する。	【主】① 観察・振り返りシート
	2	1	○収入と支出のバランスがとれるよう、家庭では計画を立ててお金を使っていることを確認する。	【思】① 観察・振り返りシート
		1	●買い物の場면을具体的に想起し、売買契約について学ぶ。	【知】① 演習・振り返りシート
	2	○買い物の方法、支払いの方法について学び、買い物をするとき、どのような情報を集め、整理し、どのように選ぶかを考える。	【知】②【思】② 観察・振り返りシート	
	3	1	○消費者として持続可能な生活の工夫についてできることを考え、買い物と環境や資源との関わりを知る。	【主】② 観察・振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

筆箱を買う場面などを具体的に想起しながら、売買契約について理解することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	8	1 本時の学習課題を見つめる。	○子どもたちの描いた買い物4コマ漫画の中から、買い物の失敗の例を一つ紹介し、あなたならこのあとどうしますか?と尋ねる。 ・そのまま持っておく。 ・返品する。 ○簡単に返品してもいいのかな。	○子どもたちの4コマ漫画を使うことで、興味関心を高め、自分たちの課題について意識できるようにする。 ○消費者側の都合による返品はお店の厚意であって、本来できないことを伝える。	買い物失敗の例（4コマ漫画）
		買い物で失敗しないために、買い物のしくみを学ぼう。			
展開	10	2 売買契約について学ぶ。 (1) お店での筆箱の買い物場面について考える。 →売買契約について学ぶ。	○売買契約は、どの場面で成立するのでしょうか? ・お金を払ったときかな? ・商品を受け取ったときかな? →正解は、「これください。」「はい。」の場面です。	○児童一人一人の考えを把握するため、ロイロノートを活用する。 ○買う人の「申し出」と売る人の「承諾」によって売買契約が成立することを確認する。	タブレット (ロイロノート)
	5	(2) 他の買い物の場面でも同様に売買契約が成立することを確認する。	○電話での注文やインターネットでの買い物の場合にも、売買契約が成立していると思いますか。 ○他には、どんな場面で売買契約をしているかわかりますか。 ・自動販売機 ・バス ・美容室など	○いろいろな買い物の場면을扱うことで、口頭でも契約が成立することをおさえるとともに、子ども達の日常生活に即した学びに広がるようにする。	・電話での買い物場面イラスト ・インターネットでの買い物の画像
	7	(3) 売買契約成立の場面の問題を解く。	○前回みなさんにしてもらった問題に、もう一度チャレンジしてもらいます。	◎【知】①売買契約について理解している。(シート) ○お店の人の話から、返品や買い物の失敗は資源の無駄につながることもあることを理解する。	・演習シート
終末	5	(4) 返品についてお店の方の話を聞く。	○インターネットでは、「返品は簡単です。」と書かれていますが、返品について、お店の方の話を紹介します。	○返品や買い物の失敗は資源の無駄につながることもあることを理解する。	・お店の方の話
	10	3 本時の学びを振り返る。	○買い物で失敗しないためには、どうしたらよいでしょう。今日の学習の大切な言葉を使って、まとめましょう。 ○振り返りをしましょう。 ・返品はお店の厚意なので、売買契約前によく考えて買い物ができるようになりたい。	○売買契約についての記述やこれからの買い物で気を付けることなどを全体に紹介することで、買い物をする時の心構えを共有する。	タブレット (ロイロノート)

第6学年2組 家庭科 学習指導案

指導者 T1教諭 坂田 光 T2栄養教諭 山本 弥生

1 題材の構想 まかせてね 今日の食事（東京書籍） B (1)イ(2)イ(3)アイ C (2)アイ

の 題材 終了 時 の 児童 の 姿	食事の大切さや栄養のバランスを考えた献立の立て方を理解するとともに、環境への配慮、自分や家族の健康を考えた食事づくりをするための調理計画や調理の仕方を工夫し、自分の食生活をよりよくしようとしている。		
	〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕	「学びに向かう力, 人間性等」
題材 の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解する。 ・ 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解する。 ・ 材料に適したゆで方、いため方を理解し、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1食分の献立の栄養のバランスや環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定する。 ・ 様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の一員として生活をよりよくするために、栄養を考えた食事や環境に配慮した生活について、主体的に取り組もうとしている。 ・ 自分の生活を振り返って改善したり、工夫したりして実践しようとしている。
目標 に向 かう た め の 手 立 て	<p>○研究の視点</p> <p>【視点1 課題設定の工夫】 児童の実態調査に加え保護者へのアンケート結果や設定家族の食生活を提示することで自分の食生活における問題に気づき、なりたい自分の姿を具体的にイメージできるようにする。</p> <p>【視点2 指導の工夫】 自分や家族の健康を考えた献立づくりにおいては、設定家族の献立について、1食分の献立作成プログラム（熊本市教育センター作成）を活用して栄養のバランスを考えた献立に改善する活動を行う。また、調理実習や実践報告会においては、調理の過程や作った献立を画像や動画で記録したものを発表させる。これらを通して、自分の考えを表現したり他者の考えを学んだりして、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【視点3 振り返りの工夫】 生活の中から課題を見出し、学んだことを生活に生かすという教科の特質から「今日の学び」「これから」の視点で振り返りを行う。また、自分の生活の変化や成長を実感できるようにするためにワークシートを活用し、題材を通して振り返りを蓄積していく。さらに調理の様子や映像を残しておき、技能の習得状況を把握するとともに、改善点が見つかるようにする。</p>		
児童 の 実 態	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年生、6年生でそれぞれ全員に調理経験はある。 ○ 調理でできるようになったと感じるのは「切る」「いためる」「ゆでる」が多い。家庭での調理体験は「よくする」「たまにする」と答えた児童が62%であった。「したことがない」と答えた児童は0と、家庭でもよく実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの児童が家庭科は将来役に立つと考えている。 ○ 「食習慣について自分の問題は何ですか」（複数回答）の問いに、「栄養バランス」を挙げている児童が22%、「嘔む回数が少ない」と「好き嫌い」がそれぞれ24%であった。しかし、実際に改善しようと取り組んでいる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭科の授業の中でも「食生活の分野が好き」と答える児童が58%と本単元への学習意欲は高い。 ○ 6月の調理実習の際、家庭での実践も行っている。家庭の実態に応じて工夫して取り組んでおり、児童自身も積極的な様子が見られた。

単元（題材）の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 献立を構成する要素が分かり1食分の献立作成の方法について理解している。 ② 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ③ 材料に適したゆで方、いため方を理解しているとともに、適切にできる。	① 1食分の献立の栄養バランスや環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ② 様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	① 家族の一員として生活をよりよくするために、栄養を考えた食事や環境に配慮した生活について、主体的に取り組む。 ② 自分の生活を振り返って改善したり工夫したりして、実践しようとしている。

指導と評価の計画（10時間取り扱い ●本時3/10）				
課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
家族の健康のために1食分の食事を作ろう	1	1	○アンケート結果や設定家族の献立をもとに自分の食生活を振り返り、題材を通してためあてを設定する。	【思】①振り返りシート 【主】①振り返りシート
	2	2	○主食・主菜・副菜・汁物を組み合わせて献立を立てることや、献立を立てる順番を理解する。	【知】①学習シート 【主】①振り返りシート
		3	●一食分の献立を考える活動を通して、栄養のバランスを考えた献立の立て方を理解する。	【知】①学習シート ①振り返りシート
		4 5	○ゆでる、いためる調理を組み合わせた「野菜のベーコン巻き」の調理計画を立てる。	【知】②学習シート 【思】①学習シート
	3	6	○調理する。（一人調理）	【知】③行動観察・学習シート 【主】①行動観察
		7 8	○家族のために作る1食分の献立を考え、調理計画を立てる。（副菜・汁物）	【知】②学習シート 【思】①学習シート
	4	課外	家庭実践	
		9 10	○家庭実践報告書を作成し、自分の家庭実践を振り返る。実践報告会を通して、これからの食生活に生かす計画を立てる。	【思】①報告書・振り返り 【思】②振り返りシート 【主】②振り返りシート

1食分の献立作成プログラム（熊本市教育センター作成）



献立の内容を考える



栄養のバランスをチェックする

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

1 食分の献立を考える活動を通して、栄養のバランスを考えた献立の立て方を理解することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 (T1 T2) ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	5	1 はるさんの献立を確認し、本時のめあてを立てる。	○はるさんが考えた献立を見てみましょう。 ・主食、主菜、副菜、みそ汁があるね。 ・黄、赤、緑が全部入っているけど、栄養のバランスはいいのかな。	T1 T2 はるさんの献立を考えることで、献立の構成要素や献立を考えるときに栄養のバランスを考える大切さに気付かせる。	電子黒板
	栄養のバランスを考えた献立を立てよう。				
展開	15	2 はるさんの献立について考える。 (1) 個人で考える。 (2) 栄養バランスについて知る。 (3) 友達と考える。	○はるさんの献立をよりよくするにはどうしたらよいか考えてみましょう。 ・栄養のバランスをよくするにはどうすればいいのかな。 ・緑の食品が足りないようだからみそ汁の実を□□にしてみよう。 ○献立を立てる際の栄養のバランスについて栄養教諭の山本先生にお話を聞いてみましょう。 ○友達と意見交流しましょう。 ・副菜を別の料理に変更してみよう。 ・みそ汁の実を変えたんだね。	T1 タブレット上で可視化した中で、黄・赤・緑のグループを確認する。 T1 T2 選んだ副菜やみそ汁の実について選んだ理由を考えさせるようにする。 T2 黄：赤：緑の割合が、3：1：2を目安にするとよいことを知らせ、栄養のバランスへの理解を深めさせる。	電子黒板 副菜カード タブレット (ロイロノート) 1食分の献立作成プログラム (熊本市教育センター作成)
	20	3 栄養バランスを考えた献立の立て方のポイントをまとめる。 (1) 全体で意見交流をする。 (2) 献立の立て方についてまとめる。	○友達と意見交流した献立について、発表しましょう。 ・緑の食べ物を増やすために生野菜サラダに副菜を変えました。 ・みそ汁の実を旬で緑の□□にしました。 ○栄養のバランスを考えた献立作りのポイントをまとめましょう。 ・副菜や汁物の実で野菜をたくさんとることができる。 ・主食・主菜を決めて、副菜・汁物で栄養のバランスを整える。 ○栄養のバランスを考えた献立を立てるには、どうすればよいかまとめ、はるさんにアドバイスしましょう。	T1 T2 発表した献立に対して述べた理由を認めながら補足し、子ども達の理解が深まるようにする。 T1 複数の食品を組み合わせることで、栄養のバランスを整えることができることに気づかせる。 ◎【知】①栄養のバランスを考えた献立の立て方を理解しているか。	黄・赤・緑のバランス図 はるさんへのアドバイス
副菜や汁物で使う食品の栄養のバランスを考えると献立を立てることができる。					
終末	5	4 本時の学びを振り返る。	○栄養のバランスを考えた食事づくりができる自分に近づくことができましたか。 ・栄養のバランスのとり方が分かった。 ・栄養のバランスのよい献立を立てるには、副菜や汁物の実で調節できることが分かった。	T1 本時の学びを振り返ることにより次時の学習に生かせるようにする。	タブレット (ロイロノート)

第5学年2組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 有働 加織

1 題材の構想 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活（東京書籍）B（5）アイ

の 児 童 の 姿	ミシンぬいに関わる基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、製作を通して、効率的な手順や目的に合った製作の工夫を考えながら、生活に役立つものを作り生活を楽しく快適にしている。		
	〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕	「学びに向かう力、人間性等」
題材の 目標	<ul style="list-style-type: none"> 安全なミシンの使い方を理解し、適切に使うことができる。 丈夫に作るための製作計画を立て、製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を見つめ、生活を豊かにするための課題を見だし、さまざまな解決方法を考え、工夫している。 実践を評価・改善したり、考えたことを表現したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくするための課題を見つけ、改善しようと主体的に取り組もうとしている。 実践を振り返り改善するなど、生活を豊かにする工夫をし、実践しようとしている。
目標 に向 かう た め の 手 立 て	<p>○研究の視点</p> <p>【視点1 課題設定の工夫】 題材導入時に「使いやすく長く使うことができるエプロンを作ろう」という題材を通したためあてを設定することで、継続的に意欲を喚起させ、そのために必要な手順や製作計画、工夫を自ら考えることができるようにする。</p> <p>【視点2 指導の工夫】 実物や見本、写真を提示し、見比べる活動を行うことで、一つ一つの手順をイメージしやすくする。また、見本をもとにぬい順番や工夫について考え交流し、自分の考えを広げ深めながら製作手順を明確にしていく。</p> <p>【視点3 振り返りの工夫】 題材を通した振り返りシートを活用し、「今日の学び」「これから」の視点で振り返りを行うことで、自分の生活を振り返り、生活に学びを生かそうとしたり、自分の生活の変化や成長を実感できるようにしたりする。</p>		
児 童 の 実 態	<ul style="list-style-type: none"> ○児童はこれまでに、玉結び、玉どめ、ボタン付け、なみぬい等の学習している。 ○ミシンを使った経験がある児童は1人だった。ミシンに対して「手ぬいより速そう。」「便利。」「というイメージを持っている児童がいる一方で、「危険。」「こわい。」「というマイナスイメージをもっている児童も3割ほどいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣生活に関する前題材「ひと針に心をこめて」の学習では、玉結び、玉どめ、なみぬい、返しぬい、ボタン付け等を安全に正しくできるための工夫について学習している。 ○これまでの手ぬいの学習を振り返り、「うまくぬい方法を知った。」「だんだんぬい方が分かってできるようになった。」「と感じている児童がいた。しかし、「失敗ばかり。」「難しい。」「と苦手意識をもっている児童もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休みには、学習したことを生かし手ぬいでぞうきんを製作した。 ○裁縫の授業に対して、「手ぬいは大変。」「針がこわい。」「と児童もいた。しかし、「家や学校で役立つものを作ってみたい。」「裁縫は大人になってからも役立つ。」「もっと違うぬい方を知りたい。」「と学習を楽しみにしている児童も多い。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ② ミシンなどに用具の安全な取り扱いやミシンぬいによる目的に応じたぬい方について理解しているとともに適切にできる。	① マイエプロンの製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見だし、課題を設定している。 ② 様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	① 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ② 実践を振り返って改善したり、生活を工夫したりして、実践しようとしている。

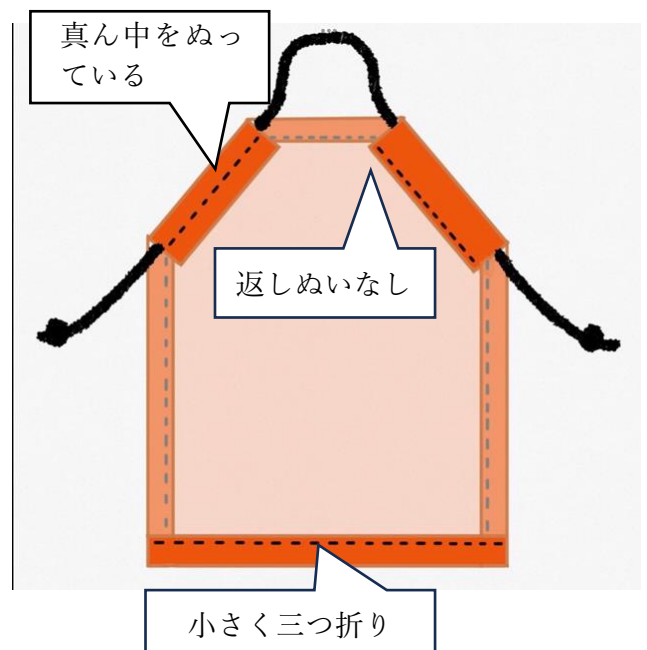
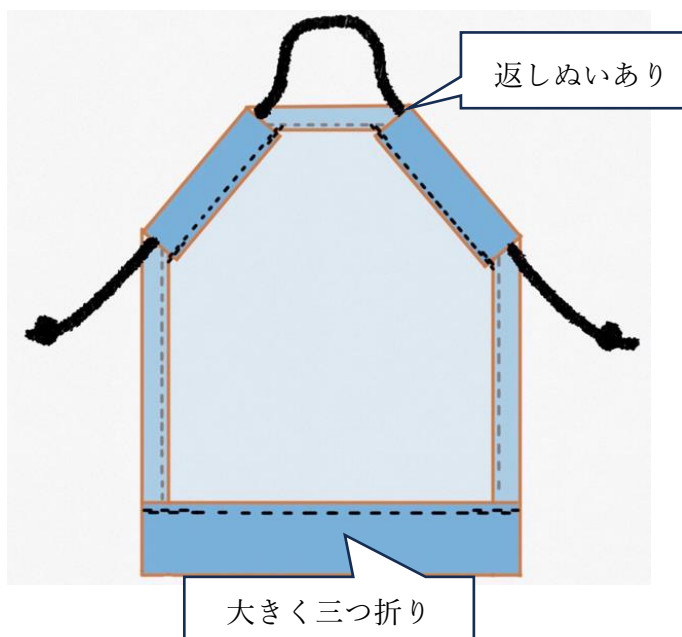
2 本時の授業計画

指導と評価の計画（11時間取り扱い ●本時 6/11）				
課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
使いやすく長く使うことができるエプロンを作ろう。	1	1	○ミシンぬいと手ぬいの違いを考えたり、身近なミシンぬいの布製品を観察したりして、ミシンぬいのよさに気付く。 ○自分の生活を豊かにするものを考え、その製作に必要な技能や準備物などを考え、製作計画を立てる。	【思】①シート
	2	2	○ミシンの各部の名前、使い方、安全に使うためのルールを知る。	【知】①シート
	3	3	○ミシンの準備の仕方を知り、下糸や上糸の準備を練習する。	【知】②観察・シート
	4	4	○ミシンを使って、直線ぬいを練習する。	【思】①シート
	5	5	○いろいろな種類の布の素材に触れ、違いや活用方法を考える活動を通して、エプロンにふさわしい布を選び、エプロンに必要な布の大きさを知る。	【思】①シート
	3	6	●エプロンの製作手順や工夫を考え、製作計画を立てる。	【思】①シート
		7	○製作計画に沿って、製作する。	【知】②観察・作品
		8	①布にしるしをつける。	【思】②シート
		9	しつけをする。	【主】①観察・シート
		10	②直線ぬいをする。 ③かざりやポケットをつける。 ④アイロンをかけ、ひもを通す。	
	4	11	○作品を友達と見せ合い、自分の製作を振り返る。	【主】②振り返りシート

【見本】

完成見本

比較見本



(1) 本時の目標

エプロンの製作手順や使いやすく長く使うことができるための工夫を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ICT 機器等
導入	3	1 本時のめあてを確認する。	○どんな順番でエプロンを作るのだろう。 ・手順を知りたい。	○前時までの活動を電子黒板に掲示することにより振り返ることができるようにする。	電子黒板
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【めあて】『使いやすく長く使うことができるエプロン』の製作手順を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】どんな順番でぬったり、どんな工夫をしたりすれば、使いやすく長く使うことができるエプロンができるだろう。</p> </div>				
展開	7	2 ぬう順番を考える。 (1) 個人やペアで考える。 (2) 全体で確認する。	○エプロンを作るには、どこをどんな順番でぬうとよいか考えましょう。 ・布の上と下の部分をぬう。 ・ひもを通すところもぬう。でも、先にぬうとひもが通らないよ。 ・布の重なっているところを見るとぬう順番が分かるかもしれないな。	○紙のミニエプロンを、実際に折り曲げたり、ぬう場所を示したカードを操作したりしながら、順番を考えさせる。 ○見本のエプロンを見ながら、全体でぬう手順を確認していく。	学習シート ミニエプロン タブレット 見本 電子黒板
	25	3 ぬい方の工夫を考える。 (1) グループ考える。 (2) 全体で見つけた工夫を出し合い、確認する。	○使いやすく長く使うことができるための工夫を見つけましょう。 ・ぬい始めとぬい終わりは、返しぬいがしてある。 ・ひも通しの部分のぬい始めとぬい終わりは、はみ出してぬってある。 ・裾が大きく折り曲げていると大きくなって調整できるね。 ○どんな工夫が見つかりましたか？ ・返しぬいをしてひもを通す部分を丈夫にする。 ・裾の長さは調整できるように曲げておく。	○見本のエプロンを比較しながら、裾のぬいしろの違い、長く使うためのよさに気付くことができるようにする。 ○「長く使うことができる」という視点を明確にし、工夫を見つけさせるようにする。 ○工夫を見つけることができないグループには、エプロンのぬう順番を一緒に確認し、関連させて考えさせる。 ◎【思】① エプロンを製作する手順やエプロンを長持ちさせるための工夫について考えている。	見本 ミニエプロン ひも 学習シート 学習シート
終末	10	4 本時の学習について、まとめをする。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【まとめ】ひもが通るように胸の左右の部分を最後にぬったり、三つ折りにしたり返しぬいをしたりすると使いやすく長く使うことができるエプロンになる。</p> </div>				
		5 学びを振り返る。	○今日の学習のふり返りをしましょう。 ・ぬう順番が分かった。 ・長く使うことができるように必要なところは返しぬいをしよう。	○「使いやすさ」「長く使うことができる」の視点で振り返っている児童の振り返りを紹介する。 ○次時から製作に入ることを伝える。	ふり返しシート タブレット

第6学年3組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 岩本 圭祐

1 題材の構想 生活を変えるチャンス！ (東京書籍) A(4)ア

の児童の姿	自分や家族の生活に関心を持ち、これまでの家庭科での学習を生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を考慮しながら、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践しようとしている。	
	【思考力、判断力、表現力等】	「学びに向かう力、人間性等」
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の仕事または家族との関わりについて日常生活の中から課題を設定し、工夫して計画を立てる。 課題解決に向けて実践し、結果を評価、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
目標に向かうための手立て	<p>○ 研究の視点</p> <p>【視点1 課題設定の工夫】 設定家族の1日から課題を見付け、自分の家庭の課題と結び付けることや、前回の実践からの気づきや改善点をもとにパワーアップポイントを考えることで、新たな課題もしくは同じ課題に対しての新たな取組に活かすというねらいを明確にする。</p> <p>【視点2 指導の工夫】 パワーアップポイントをもとに、自分の家族との関わりの中での新たな課題へとつなぎたい。その時に、前回のレポートやこれまで学習してきた題材の振り返りシートから、気づきや改善点を共有し、アドバイスをし合うことで、持続可能で、よりよい生活の改善のヒントとなるようにする。</p> <p>【視点3 振り返りの工夫】 今までの学習や、授業の終末を振り返ることで、実践に向けた意欲の向上と課題解決に向けた取組をよりよいものにする。課題と改善策はロイロノートにまとめ、活用できるようにする。</p>	
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ○7割の児童が家庭科は将来役に立つと考えている一方で、「今の自分に役立っているか」という問いに対して役立っていると答えた児童は半数に留まった。 ○自分の生活を変えたいと考えている児童は全体の約半数だった。今の生活に課題を感じている児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○約8割の児童が家庭科は好きと答えている。好きな理由として「調理が楽しいから」「日常生活でも使えるから」などが挙げられ、家庭科の授業を楽しみにしている児童が多い。しかし、苦手意識や生活とのつながりを見いだせず、好きではないと回答している児童もいる。 ○家庭科で学習したことを家庭で実践している児童は約7割である。家庭科が好きでも、実践に結びついていない児童が数名いる。

題材の評価基準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①家庭の仕事または家族との関わりについて日常生活の中から問題を見だし、課題を設定している。	①家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
②家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫している。	②家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
③家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題を見つけ、次の実践に取り組もうとしている。
④家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて実践した結果を評価・改善している。	

指導と評価の計画（3時間取り扱い ●本時 1/3）

課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
きることを実践しよう 家族のためによりよく	1	1	●自分の生活を見つめ、問題を見だし、学習課題を設定する。	【思】①学習シート 【主】①振り返りシート
		課外	○家族とともに仮課題について話し合い、決定する。	【主】①学習シート
	2	1	○実践するための計画を立てる。	【思】②実践レポート
		課外	○家庭で実践する。 ○実践報告書を作る。	【思】③実践レポート 【主】②振り返りシート
	3	1	○実践報告会を開き、これからの生活に活かせることを考える。	【思】④学習シート 【主】③振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

今まで学習してきたことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	12	1 本時の学習課題を見つける。 (1) これまで行った実践を振り返る。 (2) 設定家族の一日の中から課題を見つける練習をする。	○今までどんなことを学習してきましたか。 ・ゆでる、炒める等の調理ができるようになった。 ・手縫いやミシンでいろいろな物を作った。 ○これまでの実践からの気付きや現在の様子からよりよくできそうなパワーアップポイントを考えよう。 ・誰のために何をしようかな。	○これまでの実践のシートを振り返らせる。 ○設定家族は、自分や家族の課題が見えやすい内容にする。	電子黒板 これまでの学習シート、製作物の写真 タブレット(ロイロノート) 設定家族電子黒板
		よりよい生活をするために、自分や家族に向けたパワーアップ大作戦を考えよう。			
展開	10	2 生活の営みに係る見方・考え方を考慮しながら、自分の家の課題を考え、友達とも話し合い、さらに改善する。	○自分の家庭について課題を考えてみましょう。 ・自分もこの設定家族と同じようなことがあった。 ・朝食がごはんだけの日がある。 ・家族のために片付けをしたい。	○課題となる観点は生活の営みに係る見方・考え方を参考にさせる。 ○対象を明確にし、相手意識と目的意識を持てるようにする。	タブレット(ロイロノート) 学習シート
	15	3 友達の考えを聞き、課題を仮決定する。	○友達と相談してどのような改善策があるか考えてみましょう。 ・1日の生活の計画を立てて過ごしてみるのはどうかな。 ・うちのみそ汁は具材がたくさん入っているから栄養満点だよ。 ・私も家の片付けしようかな。 ○自分や家族のためにできる課題を設定しましょう。	◎【思】①日常生活の中から自分や家族に向けた課題を設定できているか。 ○導入で扱ったパワーアップポイントを参考にするように声掛けを行う。	
終末	8	4 次時の学習を知り、本時の学びを振り返る。	○家の人と相談して決定したら、計画を立てます。 ○本時の振り返りをしましょう。	◎【主】①家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	学習シート